

広報TSB

第23号

令和5年度 前期

TOHOKU SEIKATSU BUNKA
UNIVERSITY & JUNIOR COLLEGE

人を以て鑑と為す

東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部

学長 佐藤 一郎



四月早々、三島学園正門を入り、なだらかな坂道を辿ると、桜花がそこかしこ満開に咲きほこり、その美しさに見惚れました。本年度は、本学創立一二三年目であり、ホップ・ステップ・ジャンプと、未来を見据えて着実に前進していきたいと思います。

令和五（二〇二三）年六月二十九日（木）、創立者三島駒治、よし夫妻の墓参りと、斎藤實記念館を訪れました。大庭清理事長をはじめ、総勢一六名（そのうち同窓会員四名）で、まず人首ひとかべの自徳寺の山門をくぐり、本堂の左右に供えられた大きな擬宝珠ギボウシが四方八方に咲き乱れ、その勢いに目を見張りました。

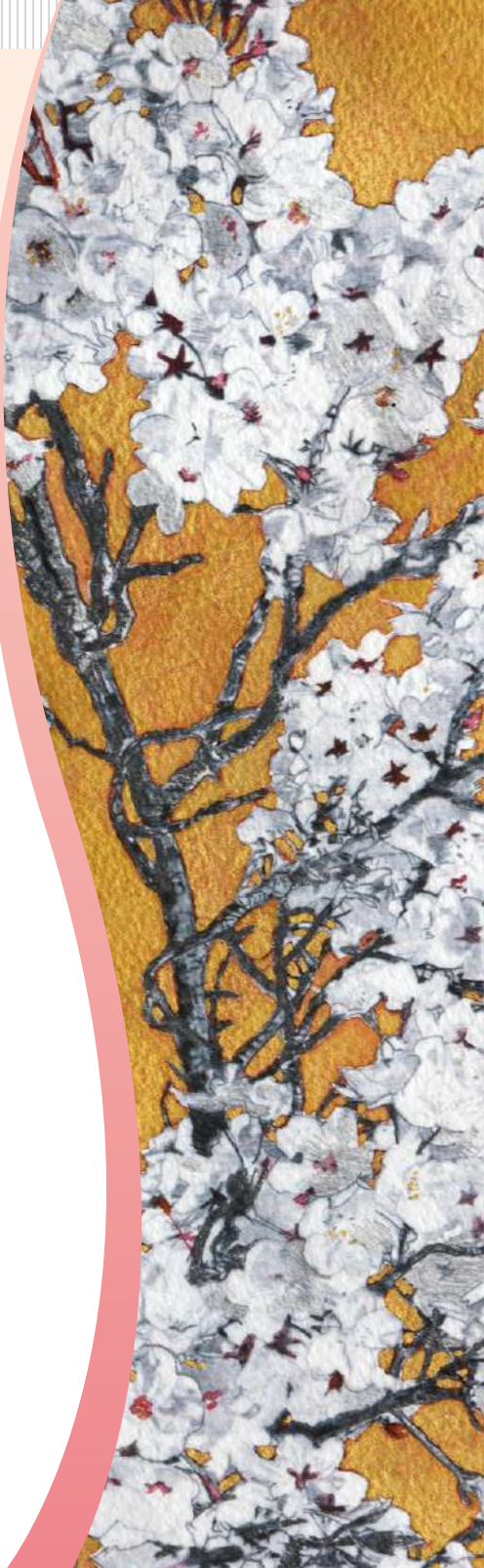
人首にいらっしゃる同窓会員一名も加わり、四年ぶりに、われわれも和尚さんと一緒に読経しました。その後、ゆるやかな細道を登り、左に曲がり、しばらく横道をたどると、駒治、よし夫妻の墓石があります。参列したみなさんは、献花後、それぞれ焼香し、手を合わせ、故人を偲びました。

昼食後、水沢の斎藤實記念館を見学し、彼の人となりに接することができました。斎藤實は、三島よしと親族であり、明治、大正、昭和期と、数年ごとに夫妻で本学に来校し、大正一三（一九二四）年には、私立東北女子職業学校設立者となっています。斎藤實は、海軍大臣、海軍大将、朝鮮総督、内閣総理大臣、内大臣と歴任し、昭和一一（一九三六）年二月二六日に青年将校たちに殺害されました。その後、春子夫人はこの水沢の地で過ごし、九九歳と長寿を全うしましたが、最晩年に至るまでこの二・二六事件のことを鮮明に記憶し語っていたといひます。

別棟の二階に書庫があり、欧文図書、台湾、朝鮮時代の貴重な図書も多く、研究者も数多く来訪し、調査していると聞きしました。外に出ると、昭和七（一九三二）年五月二六日に第三〇代内閣総理大臣就任直後の心構えを説いた処世観を記した石碑に気づきました。

一、忍耐は人の寶たからなり
二、人と接するには 調和を旨とし
謙讓なる態度を忘るべからず
三、優越観念は 深く自己の胸底に収め
他に対しては平凡中庸を以てし
自然に他をして 敬服せしむるを要す

三島学園の校訓「はげしむ 謹み 慈み」と同様に、わたくしはこの碑文を「人を以て鑑と為す」ことにしたい。



大学家政学科

短信



令和五年度春・夏の家政学科の近況をお知らせします。

まず新任の教員についてですが、四月に健康栄養学専攻に中尾真理教授、ブシャー・シルベ講師（本学高校より）、五月に安倍綾助手、七月に竹内歩助手が着任されました。

今年度の家政学科の新入生は、服飾文化専攻十三名、健康栄養学専攻四十三名、および編入学生（健康栄養学専攻三年生）二名となりました。男子の新入学生の増加傾向はさらに進み、今年は服飾文化専攻三名、健康栄養学専攻はなんと十七名と約四割が男子学生です。

新型コロナウイルス感染症の影響は徐々に小さくなり、五月の5類移行もあって、ほぼコロナ前のキャンパスに戻ってきました。授業のスタイルも本来の形に戻り、学友会の各種行事も活発さがみられるようになってきました。研修旅行など大勢での校外の行事については市中の感染状況を見ながら慎重に計画が進められているところです。

オープンキャンパスも全面的に対面型実施となりましたが、コロナ対策期のノウハウを生かしたオンライン開催も並行して実施されており、総参加者数はすでに昨年に近いものになっています。

服飾文化専攻は教員スタッフの増強に伴い制作力の向上が見られ、岩井太伸さん（四年生）の第五十四回毎日・DAS学生デザイン賞大学生の部「金の卵賞」

の受賞など、学生の各種コンテストでの入賞もありました。二月のファッションショー外部公演（有観客開催）の成功に勢い付き、大学祭公演に向けて着々と準備を進めているところです。

健康栄養学専攻学生の対外的な活動も活発化しております。以前に述べた、（株）利久とのメニュー開発はついに三月末に商品化の運びとなりました。同時期にはマイナビ仙台パンフェスへの参加、六月には今年も泉区家庭健康課の連携事業として「食育月間パネル展」が開催され、昨年度の四年生の作成した食育に関するパネル・資料が展示・配布されました。

四年生たちの学外実習、就職活動や受験勉強はまだ続きますが、これらを乗り越えて一層の成長を遂げてくれるよう、教職員一同全力で支援する所存です。

最後に退任される教員の方々ですが、七月末に大岩紗希助手、八月末に鈴木麻子助手、安倍綾助手が退職されます。これまでの本学の教育活動へのご貢献に深く感謝いたします。「鈴木裕」



大学美術表現学科

短信



美術学部は、今年度から森岡淳先生（デジタルコンテンツ分野）と山口刀也先生（教職課程）を迎えてスタートを切っております。森岡先生には、これまでの経験を活かして美術で地域に活気の出る仕組みや仕掛けを期待し、山口先生には本学の教員養成の充実に期待をしたいと思います。

各学年について触れてみます。新入生は、慣れない通学ルートと大学での授業時間九十分の講義、百八十分の実技と今までにない時間数に困惑しながらも新たな大学生活をはじめました。ガイダンスを経て現在ではずいぶんと大学生活にも慣れて来ました。

二年生は、一年生の経験を活かし大学の履修登録も積極的に済ませ、選択授業で自分の進むべき道を探っていることと思います。

三年生は、自分の自主的な制作や課外活動、大学祭での出店、公募展への作品出品、グループ展、個展等、展覧会開催のための意欲を燃やしているところでしょう。

四年生は、就職活動、教育実習、博物館実習、卒業研究と重なる行事を上手くこなしているところです。特に教育実習では、今まで学んだことを実際の中・高生の前で授業を行うという緊張感の中で、充実した体験をしたと思われるます。

今後の学事予定では、試験、レポート、課題提出を済ませ、集中講義、特別講義を経て、夏休みをはさんで後期授業がスタートします。十月になると、大学祭が開催されます。同時開催の美術学部によるコンクール「学科

内コンクール」で学生たちは作品を競うことになります。最終学年では、引き続き就職活動、卒業研究に取り組み、最後の作品成果発表「卒業制作展」(会場：せんだいメディアアテーク)に向けて研究・制作を行っています。

さて、美術学部では「美術の高度な専門知識と技能を身に付け、実学として地域社会の発展に貢献できる人間性豊かな人材を養成する」という教育目的を掲げています。地域社会では、多様な人材確保に加え得意分野を活かせる人材を求めています。得意分野で描いたりデザインをしたりという美術の力を活かすことで、アート活動はもちろん地域の活動のPRや歴史、文化、統計といった情報発信を視覚的に行うことができます。多くの人と情報やイメージの共有は、年代や所属を越えて衣・食・住といった地域資源のブランド力を高めてゆく事に繋がります。美術学部では、美術を広く学び、授業科目「地域創生演習」を通して得意分野を活かした、地域社会に貢献できる人材の育成を目指しています。〔三上〕



短大生活文化学科

短信



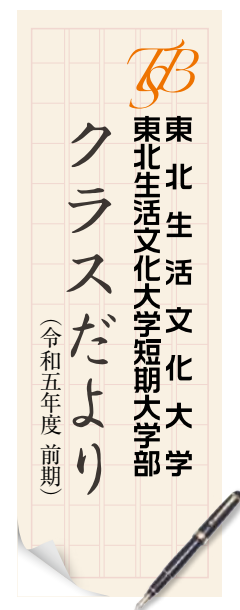
令和五年三月十五日、生活文化学科は、食物栄養学専攻三十名、子ども生活専攻三十一名を卒業生として送り出しました。今年度も、多くの学生が、栄養士免許、保育士資格、幼稚園教諭二種免許状を取得し、また例年同様、両専攻とも一〇〇%の就職率を達成しました。令和五年四月には、食物栄養学専攻に三十四名、子ども生活専攻に二十六名が入学し、新入生歓迎行事などを含むオリエンテーションが学内で行われました。一年生の皆様には、少しでも早く短大生活に慣れ、学業を中心に充実した生活を送れるよう期待します。新型コロナウイルスに対する対策が変更され、学友会活動につきましても、体育祭や七夕祭が開催されました。今後、さらなる短大生の積極的な参加が期待されます。

二年生の実習関係の報告です。食物栄養学専攻の校外実習(各学生一週間)は、六月十九日仙台市立の小学校を皮切りに始まりました。子ども生活専攻の保育所実習Ⅰが五月二十二日、保育所実習Ⅱが六月十九日から、それぞれ二週間のスケジュールで行われました。さらに、施設実習が七月十八日から二週間のスケジュールで行われました。二年生の皆様には、校外での実習を通じて、学校内だけでは得られない多くの学びがあったことと思います。

学生の学びに関するトピックスです。食物栄養学専攻では、食の分野を幅広く学べる機会を増やすためにさまざまな産学連携を進めています。この六

月、新たに株式会社海祥と連携協定を結ぶことができました。七月二十五日には、食物栄養学専攻二年生がしらすを使ったメニューを考案し、その試食会を行いました。子ども生活専攻では、日本教育カウンセラー協会認定のピアヘルパー試験対策の授業が本年度からカリキュラムの中に組み込まれました。ピアヘルパー取得を目指す一年生が熱心に勉学に励んでいます。その他、食生活アドバイザー検定試験の受験(六月二十五日)や、食空間コーディネーター三級に二年生十名が認定されるなど、多くの学生が多様な資格にチャレンジしています。〔池田〕





大学服飾文化専攻 1年

入学してから、様々な授業に取り組み、新しい環境にも慣れてきたことでしょう。大学の共通授業では、多彩な分野の知識を学び、より幅広い視野を持つことができました。服飾文化専攻の専門の授業では、裁断や縫製技術の向上、ファッションの歴史や文化の理解など、自分の夢に向かって着実に成長しています。

今後大学生活を楽しんでください。部活動・サークル活動などにも積極的に参加し、充実した大学生活を送りましょう。〔何〕

大学服飾文化専攻 2年

九月に二泊三日の家政特別演習（研修旅行）があります。今年は横浜市と東京都内を訪れます。八月月上旬に平塚先生による集中講義があり、研修旅行の一泊分として代用します。事前の準備をよろしく願います。全員が学ぶ意欲や動機を強くもって有意義な研修旅行となることを願っています。今年度は三年生への進級を控え、将来の進路を固めるための基礎作りと位置づけられます。今後ご支援をよろしく願ひ申し上げます。〔植松〕

大学服飾文化専攻 3年

時が経つのは早いもので、大学生活も三年目を迎えました。このクラスでは、六月二十八日から七月一日にかけて

「家政特別演習（研修旅行）」を実施し、東北を拠点に世界に向けてビジネスを展開するアパレル企業の工房見学や講演、博物館での体験などを通じて、地元の魅力を再発見するとともに、将来のキャリア形成のきっかけづくりに取り組みました。

なお、研修旅行の実施にあたっては「全国旅行支援」が適用され、旅行費用を軽減することができました。今後の教育・研究活動におきましても、学外機関との連携や社会資源の積極的活用に努めていく所存です。「今回の研修旅行での学びを通じて、学生一人ひとりが、どのように成長し、どのような進路を選択していくのか？」を期待しつつ、見守っていきたいと思います。〔水谷〕

大学服飾文化専攻 4年

新型コロナウイルス感染拡大初年度入学の服飾文化専攻四年生の学生生活も、あと半年となりました。自粛自粛……の学年でしたが、残り半年、これまで以上に充実した毎日であるよう願っています。現在学生たちは、将来の自分のために、今の自分と十分向き合い、行動しています。全員の目標が叶うよう引き続き支援いたします。

先日開催された服飾文化専攻作品展では、多数の保護者の皆様が観覧くださいました。ありがとうございました。〔川又〕

大学健康栄養学専攻 1年

管理栄養士になりたいと同じ夢を抱いた学生が四十三名入学いたしました。今年度は約四割が男子学生です。四月中旬より面談を実施し生活面や学業面のアドバイス等をした中で、勉強する習慣を身に付けて頂きたいとお伝えしました。六月に実施された体育祭では、一致団結し友情も育まれたようでした。入学した時の気持ちを忘れず目標が達

成できるよう担任もサポートいたしますが、ご家庭でもご支援して頂けますよう宜しくお願い申し上げます。〔八巻・ブシャー〕

大学健康栄養学専攻 2年

二年生になり、授業科目も専門分野の講義、実験、実習が多くなり、学習内容も多岐に渡っております。担任との個人面談では、勉強で分からない点を克服すること、勉強する習慣を身につけること、アルバイトで帰りが遅くなる際は事故やトラブル等に注意すること等を指導いたしました。

今後は前期科目の試験、後期の家政特別講義の学外研修などがあります。健康面に気を付けて、学生生活を送ってほしいと願います。〔栗山・鳴原〕

大学健康栄養学専攻 3年

四月に編入学生二名を迎えて四十八名となりました。三年次早々の六月から校外実習が始まりましたが、特に今年はコロナウイルスの規制が緩和されたことにより、対面式での実習となり、将来に向けての方向性がより明確になったと思われます。実習終了後にはマスクを外して講義を受ける学生が始め、ようやく学生を見分けることが出来るようになりました。また、課題研究の所属が決定する時期でもあります。研究の芽も育ってほしいものです。〔伊藤・佐藤靖〕

大学健康栄養学専攻 4年

大学生活最後の一年がスタートし、学業と就職活動に没頭する生活を送っています。五月からは教育実習や保健所、病院などでの臨地実習が始まり、学外での活動が増えてき

ましたが、管理栄養士国家試験合格に向けて定期的な模擬試験を行いながら勉学にも励んでいます。

就職活動も積極的に行っており、会社説明会や採用試験に赴き、次々内定者が出ています。自分の可能性を信じ努力を続ける学生たちをこれからもサポートしてまいります。〔川俣・高橋文〕

大学美術表現学科 1年

大学生となり、一人暮らしや履修科目選択など、高校までの生活と一変し戸惑った学生も多くいたことと思いますが、教員の心配をよそに、新しい友達を作り、大学生活に順応していく姿に驚きと安心感を覚えました。大学行事もコロナが明けて本来の姿に戻り、より充実した学生生活になるのではないかと思います。アーティスト、教員や学芸員、企業へ就職と、将来は様々ですが、貴重な四年間を過ごしてほしいと思います。〔三上・森岡・佐々木〕

大学美術表現学科 2年

二年次から、美術・工芸・デザイン・メディア芸術分野に関する専門科目の学びが始まりました。一年次までの必修・基礎科目とは異なり、二年次からは、各自が学びたい科目を履修します。これから卒業まで主体的に学ぶ姿勢が重要になります。積極的に学び、技術を身に付け、表現の幅を広げてほしいと思います。学内行事では、六月の体育祭、七月の七夕祭りなど、様々なイベントを通して、学部、学年を越えた学生同士の交流ができました。〔鈴木専・鶴巻〕

大学美術表現学科 3年

三年次へ進級する際、専門分野となる「コース選択」調査を行いました。それぞれが進むべき進路を見据えての「コ

ス選択」となったことでしょう。学生達の会話を聞いていると、卒業研究の内容や就職活動など様々な不安に直面している様子が伺えます。また学生生活も後半戦に差し掛かり、焦りが見え隠れしているように感じます。まずはどんな行動に移すこと！学生同士が切磋琢磨し、自身を見つめ直すことができる良い時期だと思っています。〔立花・落合〕

大学美術表現学科 4年

美術学部の内定状況（六月三十日現在）についてお知らせします。二十一％となっています。この数値を低いと評価される保護者様が少なからずいらつしやることについては、覚悟しております。しかしながら、二十一％はここ数年の最高値なのです。昨年は、同時期に十九％でしたが、最終的に九十％まで伸ばすことができました。これらの数値は、これからも採用の波が繰り返して来ることを意味します。今後ともご声援、よろしくお願いいたします。〔瀬戸・伊勢〕

短大食物栄養学専攻 1年

「栄養士」を目指す勉強を始めて、当初は専門性の高さからか、自分なりの勉強方法を確立できずにいた学生が多く見られました。しかし自ら進んで教員へ質問したり、友人同士で教え合ったりと学ぼうという意欲がある集団で今後が楽しみです。自ら課題を見つけて、とことん学ぶことは学生の課題であり、特権です。二年間という短い期間ではありますがありますが、一人ひとりの目標が達成できるよう頑張ってもらえればと思います。〔松尾・青柳〕

短大食物栄養学専攻 2年

穏やかな学校生活の中、多くの学生は就職活動に熱心に

取り組んでおり、内定した学生も多数にのびります。一部の学生は新入生歓迎行事やオープンキャンパスのスタッフなど、多くの行事に積極的に協力してくれています。また、県内の複数の食品メーカーと連携して商品の開発に携わるなど、産学連携事業にも取り組んでいます。大学への編入学希望者は、試験へ向けての勉強会も始めました。忙しい毎日ですが、みな有意義な学生生活を送っています。〔永沼・益田〕

短大子ども生活専攻 1年

この四月、一年生は二十六名でスタートしました。入学当初は緊張している様子でしたが、七月下旬の現在は学校生活にも慣れ、勉学に励んでいます。「健康スポーツ」授業のミニ運動会では、クラスメイトの熱心な応援を受け、一致団結して競技を楽しむ様子が見られました。五月に施設見学を終え、九月には幼稚園での基礎実習に臨みます。卒業まで互いに励まし合いながら、保育者になるという夢を実現してほしいと願っています。〔武田・阿部〕

短大子ども生活専攻 2年

二年生になり学年が上がった自覚を噛みしめる間もなく、五月から保育現場に赴き「保育の実際」を学ぶ保育実習Ⅰ（保育所）、保育実習Ⅱと保育実習Ⅰ（施設）という三つの実習が七月末まで連続で続いています。一つの実習ごとに他者、さらには自分自身と向き合い、学校に帰ってくる度に逞しくなっていく学生に頼もしさを感じています。それぞれの学生が実習で何を学んできたのか、話を聴くことを今から楽しみにしている次第です。〔橋浦・高橋恵〕

私の研究-研究紹介-



大学 服飾文化専攻 講師
何 水蘭

【専門分野】ファッションデザイン
【主な担当科目】ファッションデザイン、
ファッションデザイン画、服飾生活特別演習

二〇二二年十月から十二月にかけて、この作品を制作しました。制作のきっかけは友人からプレゼントされた本―宮城県仙台市出身の重度重複障がい者大越桂の『海の石―かつて私は石だった―』から衝撃を受け、一生懸命に生きようとする障がい者の気持ちを表現したいと思ったことです。

この作品は人間の体を岩として表現しています。岩にはたくさん貝殻が寄生し、強い波に打たれる情景をイメージしています。この作品では、貝殻と波が人生の苦難を象徴しており、「どんなに苦難なことがあっても、強く美しく生きていくことが大切であり、苦難は人生の宝石となる」というメッセージを込めています。その強い意志と生きる力を、この作品を通じて表現しています。



短大 食物栄養学専攻 講師
青柳 公大

【専門分野】調理学・スポーツ栄養学
【主な担当科目】調理科学論、調理学実習

私が「食」に興味を持つきっかけは調理師免許を持つ母からの「食育」でした。小さい頃から何かと調理をする場面が多くありました。よく母から食材の下処理をしておいてと電話で言われて、母が帰宅するまでに仕上げておかないと夕食が食べられないと思って一生懸命に取り組んだのを今でも鮮明に覚えています。

管理栄養士として、将来は研究や教育に関わりたいと思ったのは大学四年生に所属していたゼミの先生との卒論や国家試験に向けての勉強でした。正直なところ、勉強はあまり得意ではないですが、「理解できる、知らなかったことがわかる」を実感できた学生生活があったからです。

大学卒業後は大量調理施設にて十三年間勤務し、「安全、安心で効率よく、美味しい食事づくり」を業務を通して学び、縁があつて短大の教員を務めさせてただいております。教育研究を通して学生へ「栄養士・管理栄養士の仕事の楽しさ」をどのように伝えていくかが私の一番のテーマです。毎年、様々な目標をもった栄養士・管理栄養士を目指す学生が入学しますが、学生の「なりたいたい自分」になるためにはどうサポートすれば良いかを日々考えています。私の専門は調理学とスポーツ栄養学、どちらも「調理すること」が必要です。これからも講義や実習を通して調理の楽しさや奥深さを伝えていきたいと思っています。



短大 子ども生活専攻 特任教授
武田 早苗

【専門分野】図画工作・美術教育、
小学校教育全般
【主な担当科目】保育内容(表現)、
子ども造形表現、教育実習指導、
保育実習指導Ⅱ

私が本学に在籍して二年半が経ちます。以前は小学校に勤めておりましたが、現在は短大の子ども生活専攻の一教員として幼児の造形活動に関わっております。

先日、短大附属のますみ保育園、ますみ幼稚園にて、洗濯ばさみを使った造形活動を行いました。二歳の子どもでも上手に指先を使い、思い通りに紙を繋げていく様子が、子どもが持っている表現能力の高さに驚かされました。この活動は、令和七年度にますみ保育園・ますみ幼稚園がこども園になることを見据えて、両園合同の研修会として継続的に実施している取組です。今後も実践を通して子どもの変容を見取り、豊かな感性や人間性を育むための造形活動の開発を行っていきたいと考えております。



楽天イーグルスオフィシャルスポンサーに！

今年度、本学園は株式会社楽天野球団と新規オフィシャルスポンサーの契約を締結しました。それに伴い、今シーズンのホームゲームにおいて、宮城球場内のビジョンに広告が映し出されることとなります。この夏は特別に、美術表現学科四年の竹沢千陽さんと太布萌恵子さんがデザインした美術学部のプロモーション広告が掲載されることになりました。七月から九月まで、月替わりで三種類の広告が映し出されます。

また、七月のオープンキャンパスでは、現在楽天イーグルスで管理栄養士として勤務している健康栄養学専攻卒業生の中村建太さんが自らの体験談・現場の仕事について高校生にわかりやすくお話しをしてくださいました。

今後も楽天イーグルスとの関わりの中で、学生たちの学びを深める機会が増えることを期待します。「千葉・溝口」



©Rakuten Eagles



保育・食育実践プログラム

短大では、子どもの発達を理解し気持ちに寄り添った「食育」の実践に取り組んでいます。学生も教員も専攻の壁を越え、多職種連携を通して学び合います。①「模擬給食会議」では、保育士と栄養士になりきって、子どもの食の課題について事例検討しました。②「模擬こどもまつり」では、食物アレルギーの子どもが楽しめる行事を想定し、有志の学生たちがお店屋さん（卵・乳・小麦不使用）を企画しました。③「3・1・2弁当箱法」の演習では、簡単な食育のアイデアを学びました。④ますみ幼稚園の年長さんを短大に招いて、学生たちがかわいいお弁当を作り、交流しながら食育を行いました。今年度はさらに、郷土料理をテーマにした食育を地域で三回行う予定です。「木下・高橋恵」



保健センターから

みなさん。いよいよ夏本番となり、暑い日々がやってきましたね。海や山に行く機会も頻繁にあると思います。熱中症に注意して、暑い夏を乗り切りましょう。屋外での活動時には必ず帽子を被り、こまめに水分と塩分の補給をしましょう。

「新型コロナウイルス感染症の動向について」

令和五年五月八日より、新型コロナウイルス感染症は、2類相当から5類相当に移行しました。一方、本学においても、感染者は継続的に報告されており、本年度の感染者報告は三十五名（大学二十八名、短大七名）に上っています。宮城県全体でも、今月に入ってじんわり感染者が増加していますので、人が密集する場所に行く場合には、マスク装着を意識してください。また、丁寧な手洗いの継続をお願いします。「中尾」

人事異動

退職の教職員

大学 教授
井上 美紀
大学 教授
小野 真実
大学 講師
山沢 智樹
短大 特任教授
佐藤 深雪
大学 助手
高野 弥咲
大学 助手
大岩 紗希(七月三十一日まで)
大学 助手
安倍 綾(八月三十一日まで)
短大 助手
齊藤 実花
短大 助手
菅原 麻理
学生相談所 相談員
針生 隆
大学短大事務部 学生課課長補佐
高橋 絹枝(六月三十日まで)

新任の教職員

大学 教授
中尾 真理
大学 教授
森岡 淳
大学 講師
ブシャールシルベ
大学 講師
山口 刀也
大学 助手
安倍 綾(五月一日より)
大学 助手
竹内 歩(七月一日より)
大学 副手
今泉 葉月(五月一日より)
短大 助手
内海 友里夏(五月一日より)
短大 副手
高橋 由季(六月一日より)
保健センター
柏倉 潤子(七月一日より)
学生相談所 相談員
山田 かね(七月一日より)
大学短大事務部 学生課主事
菅原 優
大学短大事務部 学生課主事
半澤 悠

PHOTO ALBUM

(令和5年度 前期)



令和5年度入学式

4月4日(火)に入学式を挙行了しました。今年は快晴で桜が満開!久しぶりに保護者や来賓の方々にもご参列いただきました。



新入生歓迎行事

4月5日(水)は新入生歓迎行事としてウェルカムパーティーとクラブ同好会紹介を行いました。ゲーム等を通して学生同士の交流を深める場となりました。



宮城県からの学生への支援物資配布

5月26日(金)・29日(月)に、宮城県からの支援物資を学生に配布しました。バックご飯やレトルトカレー、パスタ等、両手で抱えきれないほどの物資に学生も大喜びでした。



令和5年度「後援会役員会・総会・学科専攻別懇談会・個別面談会」

6月3日(土)に後援会総会が開催され、たくさんの保護者の方にご出席いただきました。お忙しい中、ご出席いただきありがとうございました。



体育祭

6月10日(土)に体育祭を開催し、学生たちは気合十分で試合に挑みました。実行委員のおかげもあり、学科専攻の垣根を越えた楽しいイベントとなりました。



夏のオープンキャンパス

6月17日(土)・7月16日(日)・8月6日(日)にオープンキャンパスを開催しました。猛暑の中、学生スタッフのみなさんは、誘導から講座中のサポート、お見送りまで大活躍でした!



七夕祭

7月7日(金)の夕方から、数年ぶりに七夕祭を開催しました。テントでの飲食物(焼き鳥や唐揚げ等)の提供、フォークロックサークルのライブ、手持ち花火等、楽しいイベントとなりました。



小中学生のためのTSBファッションカレッジ2023

7月29日(土)に小中学生対象の講座が行われました。大学服飾文化専攻の教職員と学生の指導の下、昇華転写染の技法で、オリジナルミニバッグを染色!



秋保の杜 佐々木美術館&人形館10周年 リレー展・佐藤一郎展

秋保の杜 佐々木美術館にて佐藤一郎学長の個展が開催されます。是非ご覧ください。
会期:9月13日(水)~10月9日(月)10:00~17:00
(月曜日休館/祝日の場合営業、翌日休館)

就職支援センターから

◎ファーストキャリアが大切

7月になり、一般企業の秋募集の採用活動が始まりました。本学の内定率は6月末実績で、大学35.1%(前年比4.1%増)、短大で6.1%(前年比5.6%減)となっています。これまでの企業の採用活動を見ていると、順調に採用が進んでいる企業と、順調とは言えない企業に二極化しています。私の目から見た順調に採用が進んでいる企業の特徴をいくつか挙げてみると、「職場のモチベーションが高く、人間関係も良好である」「業績重視で若くてもやりがいのある仕事を任せられる」「時代の最先端を行き、最新の知識とスキルを身に付けられる」「仕事のオン・オフの切り替えのメリハリがある」「給与と福利厚生が充実している」などで、ホワイト企業と呼ばれています。それとは逆に採用が上手く行っていない企業には、俗に言うブラック企業が多いのが実情です。ホワイト企業には優秀な学生が続々とエントリーしており、また、早くから採用活動を始めています。3年生の夏のインターンシップから採用活動が開始されます。社会に初めて出る学生にとってファーストキャリアはとても重要です。何故なら、現代は転職によってキャリアアップをすることが当たり前の時代ですが、前職でどのような仕事をして成果を出してきたかを問われます。つまり、過去を変える事は出来ません。ホワイト企業から内定を得るために何が必要かをよく考えることが大切です。[津島]